

# 東奥日報

2021年(令和3年)5月8日(土曜日) (18)

## 開かれた8枚の扉

### 八工大創立50周年記念 シンボルマーク制定

八戸工業大学はこのほど、2022年の創立50周年を記念して制定したシンボルマークをお披露目した。マークに描かれている8枚の開かれた扉は、無限の可能性への入り口や地域に開かれた大学などを象徴している。

同大には校章とキャラクター「八工犬」を定めているが、50周年をス



八戸工業大のシンボルマークを紹介する坂本学長と創生デザイン学科の高屋喜久子学科長

テップに新時代に向けてさらに歩みを進め、同大のアイデンティティをより広く発信する目的でシンボルマークを制定した。

昨年11～12月に一般公募を行い、同大の学生を含め県内外の10～80代から620点が寄せられた。八工大らしさや視認性、審美性、未来・発展性を選考基準に、学内審査会と学生・同窓会員のウェブ投票を行った結果、東京のクリエーティブディレクター村上正剛氏(アイドマ代表)の作品に決定した。

マークのスローガンは「工学×デザイン×地域」で、水色と青の2色のコンビネーションは「工学とデザインの融合」「大学と地域の連携」「八戸の青い海や空との共生」を表現している。坂本禎智学長は「来年改組し、工学部と感性デザイン学部を融合したいと考えている。地域の課題を工学とデザインの領域で解決し、社会貢献する」という使命感を持って進む決意を込めた」と思いを語った。

(千葉真由美)

※「この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」